

SALC通信

【volume.16】

2012

APR



S e l f - A c c e s s L e a r n i n g C e n t e r



入学時のTOEFL®の点数で危機感を 感じている人はSALCを利用してください。

みなさんこんにちは。APM3回生の齊藤秀男です。私は今年の秋からアメリカのミネソタ州立大学に交換留学内定が決まりました。

今回は私が日々のAPUでの生活の中でどのように英語学習をしてきたのかを述べたいと思います。

私の入学時のTOEFLのスコアは317点でした。モチベーションを保つためにも、授業の合間は常にSALCに行くことを決めました。英語学習のスタートは中学生用の教材を使いました。1回生の最初のセメスターは、その教材を3回ぐらい繰り返して暗記するぐらい覚えました。単語に関しては、キクタンリーディングを毎回SALCに行くくと1ページ覚えるようにしました。課外活動でも国際色豊かな柔道サークルに入って、国際学生とのコミュニケーションの中で勉強した文法を使ってみるなど、実践的に英語を試してみたりもしました。常に英語に触れ、勉強を3時間ぐらいすることで、7月のTOEFLの点数を427点まで伸ばすことができました。TOEFL400点台を取ったことに対して満足してしまったこともあり、夏休みには英語学習に身が入らず、結果として夏休み後のTOEFLの点数も440点とあまり伸びませんでした。

その次のセメスターは気持ちを切り替えて、毎日SALCに通い、英語学習を継続していきました。結果として2回生になる前にTOEFL467点をとることができました。この時には教材は使わずにCNN Student Newsなどを毎日見て、英語に触れていました。春休みには、夏休みに英語に集中できなかったことの反省として、毎日、図書館に行き学習環境を変えて学習しやすくし、そこで英字新聞などを読んでいました。春休みに受けたTOEFLでは結果は出ませんでした。次の5月にTOEFL527点を取ることができました。結果として交換留学の内定をもらうこともできました。

その後のTOEFLの点数は527点を越えていないので、今年の秋に交換留学に行く前までには必ず550点を取りたいと思います。

TOEFL317点から始まった大学生活でしたが、毎日、英語学習をしなければいけない環境に自分の身を置くことでTOEFL527点を取ることができました。

入学時のTOEFLの点数で危機感を感じている人はSALCの沖本さんに相談をして、SALCを利用してください。Be動詞も曖昧に覚えていた私でも、わかりやすく解説している教材なども多くあります。必ず英語能力が伸びるのでぜひ継続してSALCを利用してください。私もこのセメスターはSALCを利用するので、お互い頑張りましょう。



1回生の時の写真

Hideo SAITO

齊藤 秀男 (APM3回生)

